

# LMV-2000-RX4 LMV-2000ACE-RX

## L・Mole工法協会

〒750-0086 山口県下関市彦島塩浜町1-8-5  
TEL 083-266-1105 FAX 083-266-1200  
URL <http://www.l-mole.com/>  
mail [lkyoukai@l-mole.com](mailto:lkyoukai@l-mole.com)



LMV-2000-RX4



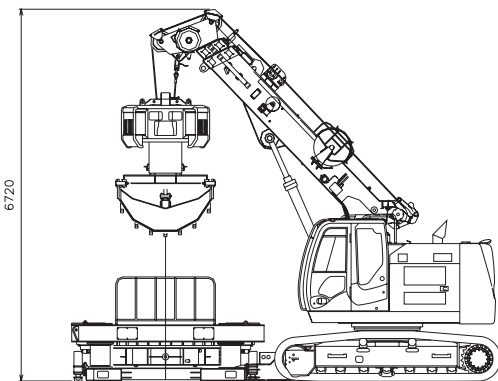
LMV-2000ACE-RX

### 概要

L・Mole工法はベースマシン一体型の圧入機を使用して、鋼製ケーシングを揺動または回転圧入しながら、内部を専用掘削バケットで掘削し所定の深さの立坑を構築する工法。鋼製ケーシングを使用するため、矢板やライナープレートのように地盤改良等の補助工法を必要とせず、水中掘削をすることにより地下水にも対応可能。また、圧入装置と駆動源となるベースマシンが一体化されており、反力を大きくとることができるため深い立坑に対応でき、専用の掘削バケットを使用するので、掘削作業能率が良く施工時間を短縮できる。さらに、圧入装置部分をベースマシンで吊り上げることにより、自走することが可能で現場内の移動が容易である。

#### [LMV-2000-RX4]

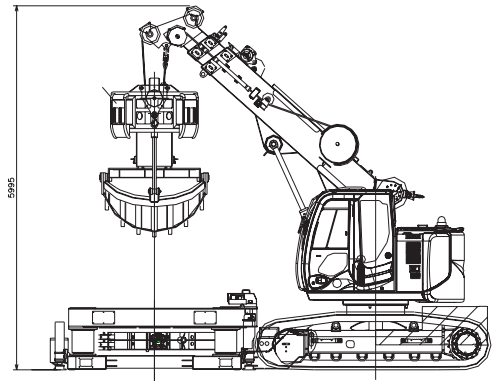
旋回用油圧モータを4台に増設した高トルクで施工できる立坑機。掘削深が15mを超える大深度の施工も対応。



仕様			
掘削口径	φ1590mm	φ1890mm	φ2090mm
バケット容量	0.2m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.55m <sup>3</sup>
バケット開口径	φ1410mm	φ1690mm	φ1900mm
圧入力	392kN [40ton]		
引抜力	686kN [70ton]		
旋回トルク	830kN・m [85ton・m]		
旋回速度	~1.9 min <sup>-1</sup>		
エンジン出力	122kW / 2000min <sup>-1</sup> [166ps / 2000rpm]		
機械運転質量	45.67ton (バケットφ2000使用時)		

#### [LMV-2000ACE-RX]

小型・高性能タイプで、二段伸縮（三段）ショートブームの採用により、作業時の全高が低い。



仕様			
掘削口径	φ1590mm	φ1890mm	φ2090mm
バケット容量	0.2m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.55m <sup>3</sup>
バケット開口径	φ1470mm	φ1733mm	φ1995mm
圧入力	392kN [40ton]		
引抜力	686kN [70ton]		
旋回トルク	392kN・m [40ton・m]		
旋回速度	2.0~0.3 min <sup>-1</sup>		
エンジン出力	73.4kW / 2000min <sup>-1</sup> [100ps / 2000rpm]		
機械運転質量	33.7ton (バケットφ2000使用時)		

### 特長

- L・Mole工法では、揺動型および全旋回型立坑構築機があり、揺動型立坑構築機LMVおよび全旋回型立坑構築機LMV-Rはφ1200~φ5000mmまでの立坑に対応可能。
- 刃先に超硬チップを取り付けることにより、岩盤や転石等の施工が可能になり、軟弱地盤から硬質土までの幅広い土質に対応できる。
- 工法独自の破碎装置（油圧ブレーカ）を開発しており、岩盤施工にも対応可能。
- L・Mole工法では、狭い場所や架空線の問題で、小型のベースマシンを使用した全旋回立坑構築機、施工高さを低く抑えられる2段伸縮ブームを使用した掘削機、およびそれを併用した機種を供給している。